



11-6
歴史

元禄時代の光と影 ～綱吉政権の特質～



会場

学園都市センター

※ P87 参照

提供

多摩大学

曜日・回数

金曜日 3回

時間

15:20～16:50

受講料

2,500円

定員

20名

実施日

11月 17日 24日

12月 1日

備考

いわゆる「元禄時代」は、5代将軍徳川綱吉の治世の下、華やかな元禄文化が花開き、経済的にも発展をとげた江戸時代の高度成長期でした。その一方で、悪法の代表とされる生類憐みの令や、赤穂浪士の討ち入り、災害の多発など、また異なったイメージでも語られる時代です。この時代は、いったいどんな時代だったのでしょうか。この時代の特質について、幕府の諸政策、赤穂事件、自然災害といった側面から検討を試みます。

【第1回】

徳川綱吉の政治姿勢と諸政策：

徳川綱吉といえば、いわゆる生類憐みの令で有名ですが、いわゆる「お犬さま」をめぐる政策とはいったい何をめざしたものだったのでしょうか。綱吉が将軍に就任した経緯を含めて、その政治姿勢と諸政策について検討します。

【第2回】

赤穂事件 —江戸城における刃傷事件—：

江戸城の松の廊下にはじまる赤穂事件とは、どのような事件だったのでしょうか。通例、討ち入りを中心に語られるこの事件について、ここでは江戸城における刃傷事件という側面に焦点をあてながら、この事件を考えてみます。

【第3回】

元禄・宝永期の自然災害 —元禄の終焉—：

元禄期の後半、関東地域を襲った大地震をはじめ、宝永期には、大規模な水害や富士山の爆発などがおこります。日本列島を襲った自然災害の状況と綱吉政権を終焉に導いた時代の様相を確認しながら、「元禄」という時代を振り返ります。

受講生への

メッセージ



関ヶ原合戦から約80年、江戸幕府は5代将軍徳川綱吉の治世を迎えます。いわゆる元禄時代は、幕府のゆるぎない支配の下、あらたな価値観が構築されていく時代であったともいえます。近年、綱吉政権下の諸政策をめぐるさまざまな見直しも試みられています。この時代の特質について、とくに政治史的な側面から具体的にたどっていきます。

【講師】大森 映子（おおもり えいこ）名誉教授

日本近世史専攻 幕府と藩との政治史的關係や大名家の相続問題を研究テーマとしている。
お茶の水女子大学大学院修士課程修了
湘南国際女子短期大学、多摩大学教授をへて、現在多摩大学名誉教授。